

STAGE+を楽しむ(152)(HP 収載)
—イヴリー・ギトリス in ヴェルビエ—

1. 始めに

前報(151)に引き続き、STAGE+のイヴリー・ギトリス in ヴェルビエの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回はイヴリー・ギトリス in ヴェルビエ (ライブ) の演奏を選びました。

イヴリー・ギトリス (ヴァイオリン)

イタマール・ゴラン (ピアノ)

カティア・ブニアティシビリ (ピアノ)

マルタ・アルゲリッチ (ピアノ)

曲目:

ベラ・バルトーク ヴァイオリンとピアノのためのラブソディ 第1番 Sz.87

イタマール・ゴラン (ピアノ)

クロード・ドビュッシー ヴァイオリン・ソナタ CD 148

イタマール・ゴラン (ピアノ)

Ernest Bloch バール・シエム B.47 第2曲: ニーゲン

イタマール・ゴラン (ピアノ)

ザムエル・ドゥシュキン シシリエンヌ

カティア・ブニアティシビリ (ピアノ)

フリッツ・クライスラー 3つのウィーン古典舞曲集

第2番: 愛の悲しみ

マルタ・アルゲリッチ (ピアノ)

第3番: 美しきロスマリン

マルタ・アルゲリッチ (ピアノ)



3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

また、CDクリーナーの効果(9)で報告しましたようにPCのストリーミング再生において、PCの液晶画面とLAN iSilencer とルーターに対するCDクリーナーの処理を行っています。今回、スイッチングハブとルーターのLANポートにフェルトダンプ端子を装着しています。

ギトリスのヴェルビエ音楽祭のヴァイオリン・ソナタ集の演奏のライブ収録のアルバムで、3人のピアニストが伴奏を受けもっています。

バルトークのヴァイオリンとピアノのためのラプソディ、ドビュッシーのヴァイオリン・ソナタ、Blochのバール・シエム第2曲ニーゲン、ドゥシュキンのシシリエンヌはいずれも初めて聴く曲です。

いずれの演奏も、ギトリス独特のフレージングと抑揚で、不思議な感覚の世界の表情を作り上げています。

クライスラーの愛の悲しみと美しきロスマリンは、お馴染みの曲ですが、楽譜を無視するかのような自由奔放さがあり、ヴァイオリンによる小節のきいた演歌のような演奏です。

これまでの対策により、ヴァイオリンもピアノも、ライブ収録のアルバムとは思えないほど、リアルな音像を示しています。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、LAN ポートにフェルトダンプ端子を装着したことで、ライブ収録のアルバムとは思えないほど、リアルな音で、ギトリスの奔放な世界を描き出しています。

以上